

会員欄

▶平成 4 年 3 月◀



脇田	英治	富山大学工学部金属工学科
石川	秀雄	トヨタ自動車㈱生技開発部第2開発室
岩永	功	新日本製鉄㈱技術開発本部八幡技術研究部
大嶽	篤	住友軽金属工業㈱技術研究所プロセス研究部
大坪	俊治	川崎製鉄㈱銑鋼技術部製鋼技術室
大橋	正昭	トヨタ自動車㈱
大宮	英雄	東洋鋼板㈱製造第2部
大室	喜久子	川鉄テクノリサーチ㈱総合検査分析部水島事業所
岡島	英人	トヨタ車体㈱高浜工場
川口	清彦	住金制御エンジニアリング㈱計測システム開発部
桐島	清寿	日本冶金工業㈱研究開発本部商品開発部
黒川	健次	住友金属工業㈱小倉製鉄所技

笛木	香輔	術管理部製品技術室 ダイハツ工業㈱材料技術部材料技術室
申	明均	東北大学選鉱製錬研究所難処理希少資源研究室
瀬戸	良登	㈱クボタ素形材第一事業部ロール研究部
高橋	伸幸	住友軽金属工業㈱技術研究所プロセス研究部
竹田	美和	名古屋大学工学部材料機能工学科
田添	信広	石川島播磨重工㈱横浜第2工場産業機械事業部開発部
中島	智之	大同特殊鋼㈱星崎工場製鋼課
成田	敏夫	北海道大学工学部金属工学科金属工学第六講座
平野	篤志	新日本製鐵㈱大分製鐵所製鋼部製鋼技術室連鉄技術掛
平野	聰	㈱日立製作所日立研究所第5部51研究室
藤沢	芳浩	㈱神戸工業試験場材料調査試験室金相グループ
牧野	泰育	名古屋大学工学部材料プロセス工学科
馬込	正勝	大阪産業大学工学部
松本	健	日新製鐵㈱周南製鐵所冷延精整部冷延技術課
宮川	裕子	東京工業大学工学部金属工学科鉄冶金學講座
望月	一雄	川崎製鉄㈱技術研究本部鉄鋼研究所表面処理研究部薄板表面処理研究室
山本	芳幸	富山大学工学部金属工学科
		Rohlin, Jan



死亡退会

御冥福をお祈り申し上げます

満武	伍郎	㈱トーキン
伊藤	河西	東京工業大学名誉教授
作井	芹沢	関西大学工業技術研究所顧問
新谷	高瀬	日本钢管福山製鐵所
安田	卓司	大同特殊鋼㈱チタン事業部長

外国会員

▶平成 4 年 3 月◀



「戦後復興期における日本鉄鋼技術の発展」

(昭和 20 年より 30 年代初頭まで)

発刊に際して画像情報資料（写真、その他）
提供お願いについて

本会、戦後技術史調査小委員会では、現在「戦後復興期における日本鉄鋼技術の発展」と題する報告を近々発刊を目標に第1次原稿を作成致しました。スケルトンは、下記に記すとおりであります。現在、特に第1次合理化計画で建設された設備関係の写真や各種調査団の記念写真等探索中であります。そこで会員の方々の中でも上記の画像情報資料をお持ちで提供いただける方は、下記宛ご連絡いただきよろしくお願い致します。なお、本報告書は、本文 200 頁、資料 100 頁にわたる膨大なもので、本年 9 月頃刊行を目指し銳意編集作業を進めております。鉄鋼技術史の空白を埋める貴重な文献となるものなので、是非ご期待下さい。8 月頃には予約を受け付ける予定です。

なお、戦中の鉄鋼技術については昨年 3 月に「戦前軍用特殊技術の導入と開発」を出版しておりますので御関心の方は御購入をお願い致します。

記

戦後復興期における日本鉄鋼技術の発展
(昭和 20 年より昭和 30 年代初頭まで)

第一部 日本鉄鋼業の戦後復興の端緒

- 第一章 生産の再開と鉄鋼業再建の指針
- 第二章 賠償問題の変遷
- 第三章 鉄鋼生産回復の足取り
- 第四章 経済諸制度の変革
- 第五章 高炉調査團・平炉調査團の派遣
- 第二部 鉄鋼業の自立化の努力
- 第一章 ドッジ・ラインと鉄鋼業
- 第二章 鉄鋼業の自立化方策
- 第三章 米国鉄鋼技術者の指導
- 第四章 諸米鉄鋼業調査團の派遣
- 第五章 産・官・学の共同研究体制の確立

第三部 近代化への門出

- 第一章 朝鮮動乱の勃発と鉄鋼業
- 第二章 鉄鋼業第一次合理化計画
- 第三章 第一次継続合理化計画
- 第四章 第一次合理化計画（一次継続を含む）を推進した税制措置
- 第五章 外国技術の導入と設備機械の輸入
- 第六章 第一次合理化計画（一次継続を含む）の実施による効果
- 終章

<連絡先> (社)日本鉄鋼協会 図書・資料室 渡辺
〒100 東京都千代田区大手町 2-7-1 日本ビル別館 10 F
TEL (03)3241-1228 FAX (03)3241-3941